

新宮山産ぐるーぷ第2273回

玉置神社、下向橋間の奥駆道巡視

◇実施日 2月10日(土)、12日(月・祝)

◇参加者 志岐敬、山本直子(玉置神社↓金剛多和)

湯川一郎(下向橋↓金剛多和)

玉置山駐車場↪大森山↪五大尊岳↪金剛多和↪上切原

2月12日(月・祝) 雪のち晴れ

11日に持経宿から浦向道の巡視点検があったので、終わってから梶野さんに玉置神社駐車場まで送ってもらい、翌日本宮まで歩くことにした。



テント設営



雪の中で撤収



玉置辻までの倒木

11日、午後4時半頃に駐車場着。栄山のオヤジさんと駄弁りな

がら駐車場が空くの待つ。5時頃、トイレ近くにプロモンテ2人用テント設営にかかるが、3年ほど使わないうちにポールを繋ぐショックコードが伸びきって、ポールが嵌まらない。山本さんが箸でコードを押し込んで何とか設営。テント内でホットウイスキーやビールに、暖かいアテでまったり過ごす。

12日は3時起床。雪がテントに積もり、地面も瞬く間に真っ白になる。4時出発の予定が、撤収に手間取り5時50分、カッパ上下を着て出発。

玉置神社を過ぎ玉置辻まで500メートルくらいの地点で1本の倒木が道を塞いでいたが、難なく跨いで通過できた。それより登山道を砂利が覆い、部分的に崩れやすいところが結構ある。以前から変わらないが、もう少し歩き易くできないものか。

大森山に9時5分到着。山全体にうっすら雪が付いており、楽しみにしていた梅花オウレンは見られなかった。

途中、大平多山の手前、旧篠尾辻への分岐に山本さんが迷いこみそうになった。正規ルート側にペンキで赤マルが付いているが、もう少し分岐近くにマークした方が良いかもしれない。

篠尾辻までの急な下りは植平さんが付けてくれたフィックスロープのお陰で危険はないが、慎重に下りる。

五大尊岳北峰への急登は順峰時の南峰への登りに比べると楽だが、それも比較の話し。北峰へ到着後、三つの小ピークを経て南峰。ここから岩場交じりの激下りになるが、ここも植平さんが丁寧にロープを付けてくれているので助かる。ただ足元が落ち葉で滑りやすいので要注意だ。

この激下りで膝を痛めた山本さんのペースが上がらない。湯川さ

んが金剛多和・山在峠辺りに入っていると連絡をもらい、山在峠で湯川カーに拾ってもらおうよう連絡、快諾を得る。



万全の防寒対策で

五大尊岳に向かう

五大尊岳

しかし、金剛多和着が2時25分と予定より大幅に遅れる。湯川さんから大黒天神岳を上り山在峠へ下りるのは時間がかかるので、上切原へ下りるよう電話がかかる。車を回してくれるという有り難いお言葉。

トラロープに助けられながら、2時間かけて這々の体で上切原へ下山。なんと湯川さんだけでなく沖崎さんまで心配して駆け付けてくれていた。

上切原から湯川カーで新宮駅まで送ってもらい、無事くろしおに乗って天王寺経由で奈良へ帰ることができた。新宮駅では志岐が携帯電話を湯川カーにお置き忘れるというおまけまで付いて、湯川さんに駅に届けてもらい事なきを得た。

今回は送り迎えに、梶野さん、湯川さん、沖崎さんに大いに助けられた山行だった。有難うございました。

(記：志岐)

行動タイム

玉置山駐車場 05：50→06：51 玉置辻 07：00→09：03 大森山 09：03→10：26 岸の宿→11：37 五大尊岳北峰 11：45→14：25 金剛多和 14：37→16：27 上切原

備崎、山在峠、下向橋周回

2月10日(土) 晴

備崎から山在峠までの登山道に倒木等はなく、よく整備されていた。吹越峠には下向に間違っって降りないようにピンクテープが張られている。

吹越峠から下向までは倒木が2本あったものの、通行に支障はない。山林伐採地まで下ると展望が開ける。四等三角点(基準点名：下向)に立ち寄り、下向集落(上部)に出た。逆コースの場合、取付箇所が少しわかりにくいかもしれない。

ここから備崎まではアスファルトの道を約1時間かけて戻った。

行動タイム

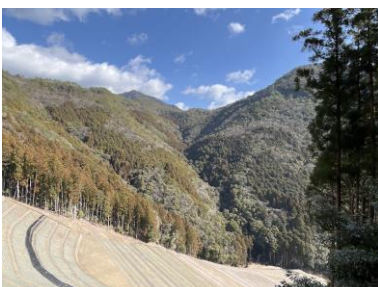
備崎 07：03→09：17 山在峠 09：23→10：03 吹越峠 10：08→10：46 下向集落(上部) 10：46→11：04 下向橋バス停 11：04→11：47 備崎



吹越峠の分岐



下向集落（上部）



中央の低い所が金剛多和



大黒天神岳

上切原、金剛多和、山在峠周回

2月12日（月・祝） 晴

上切原から金剛多和までは、枝を払いながら進み、倒木は4本あったものの通行には支障なかった。大木の水場は、かろうじて途切れずに流れていた。金剛多和に着いて、役ノ行者像を祀る祠の屋根を掃除し、水場を確認した。水はチョロチョロと流れている程度で少し時間がかかりそうである。

大黒天神岳へ登る途中で沖崎さんから電話が入るが通話はできなかった。14番鉄塔まで下り、そこで沖崎さんと連絡がついた。昼ご飯を食べて出発、枯葉で滑りやすい路面もあるが、山在峠まで倒木はなく、上切原まで道路を歩いて戻った。

行動タイム

上切原 09：35→11：03 金剛多和（水場往復含む） 11：21→11：40 大黒天神岳 11：44→12：07 14番鉄塔 12：26→12：50 山在峠 12：50→13：22 上切原